

平成 30 年度 学校相互評価実施

日時：平成 30 年 10 月 29 日（月）

評価委員：中国四国地区の国立病院機構附属看護学校の教育主事 4 名と国立病院機構外の看護専門学校から 1 名の教務主任の合計 5 名

平成 30 年度学校相互評価結果

評価内容	自己評価	他者評価
I. 教育理念・教育目的・教育目標	3.1	3.1
II. 教育課程経営	3.0	3.1
III. 教授・学習・評価過程	3.0	3.0
IV. 経営・管理過程	3.0	3.1
V. 入学	3.0	3.0
VI. 卒業・就職・進学	2.8	2.8
VII. 地域社会・国際交流	2.8	2.8
VIII. 研究	2.5	2.5



【総評】

全領域（129 項目）の評価は、「4：当てはまる」11 項目、「3：ほぼ当てはまる」104 項目、「2：やや当てはまる」14 項目、「1：当てはまらない」該当なしであった。

前回平成 27 年度を受審結果から明らかになった自養成所の課題に取り組んだ成果が十分にうかがえる。特にシラバスや学生便覧の内容を充実させ、創意工夫を図っている。全ての授業科目を理想的に配列することは難しいことではあるが、実習での学びを活かし、病態や看護のイメージを図るために毎年検討されている教育方法の工夫を評価しつつ、今後の教育効果を期待したい。今後も課題となる内容の改善に尽力いただきたい。